



草津中通信

令和3年4月8日(木)
草津町立草津中学校 No. 1

教育目標 心豊かで、高い知性をもつ、健康な生徒の育成

令和3年度はじまる 新任式・始業式・入学式



令和3年度の本校では37名の新入生を迎えることができました。在校生も加えて120名の生徒で1年間を送ることになります。生徒ひとりひとりの成長には、学校での教育はもちろん、地域や家庭の学校教育活動へのご支援・ご協力をいただけることがとても重要なこととなります。一昨年度からの新型コロナウイルス感染症対策等でも町当局をはじめ、たくさんの方々にお世話になってきました。そして、本年度もこれまで同様によりしくお願いいたします。

〔4月の主な予定〕

- 13 火 身体測定
- 15 木 歯科検診
- 19 月 集金日
- 22 木 学校経営説明会
懇談会・部活保護者会
- 23 金 避難訓練
- 24,25 中体連春季大会

〔年間の主な予定〕

- | | |
|-----------------------|------------------|
| 5月上旬 家庭訪問 | 9月上旬 体育祭 |
| 6月上旬 校内持久走大会
・球技大会 | 9月中旬 生徒会役員改選 |
| 6月上旬 修学旅行 | 10月下旬 草華祭 |
| 6月下旬 期末テスト | 11月下旬 期末テスト |
| 7月下旬～8月下旬 夏季休業日 | 12月下旬～1月中旬 冬季休業日 |
| 8月下旬 高原学校 | 3月中旬 卒業式 |
| | 3月下旬 修了式 |

〔職員の転出入〕

転出

- ・石塚博文(孺恋中へ; 校長)
- ・桑原亮一(中之条中へ)
- ・朝比奈明子(富士見中へ)
- ・松本聡
- ・羽田貴美枝(草津小へ)
- ・黒岩恵

転出された皆さんお世話になりました。転入された皆さんよろしくお祈りします。

転入

- ・木村雅士(中之条小から; 教頭)
- ・町田広大(桃瀬小から)
- ・樺沢春香(殖蓮中から)
- ・山本甘弥(新採用)

転入

- ・都筑秀斗(草津小から)
- ・須賀道郎(北軽井沢小から)
- ・関 輝(マイタウン)

〔令和3年度の草津中職員〕

駒草1組担任 竹渕輝昭 駒草2組担任 山本光明 駒草3組担任 都筑秀斗

支援員 上野淳子 支援員 湯本園江 マイタウンティーチャー 関 輝

事務長 矢島一郎 養護 島村美保 教頭 木村雅士

1 学年関係の職員

学年主任; 宮崎治香 1A担任; 樺沢春香 副担任; 山本光明 副担任; 都筑秀斗 副担任; 町田広大

2 学年関係の職員

学年主任; 小幡今朝雄 2A担任; 山本甘弥 2B担任; 加藤義忠 副担任; 竹渕輝昭

3 学年関係の職員

学年主任; 佐藤憲司 3A担任; 山口智也 3B担任; 福島美咲 副担任; 剣持友二 副担任; 青木博美



国民と向き合ったミダス王 ～始業式式辞より～

その昔、ミダスという名の王様がいて、内緒にしていることがありました。実は、彼の耳はロバのような形で、その秘密を知っているのは王様専用の床屋だけだったのです。床屋は固く口止めされ、口外すれば命の保証はないとまで言われていました。ある日、黙っていられなくなった床屋は、井戸に向かって「王様の耳はロバの耳」と秘密を吐き出してしまいました。すると、国中の井戸がすべてつながっていたので、あちこちの井戸から「王様の耳はロバの耳」と聞こえだし、ミダス王の耳がロバの耳であることが国民に知られてしまったのです。ミダス王がかんかんに怒ったのは当然のことでした。

「ミダス王の耳はロバの耳」は本当なのかを確かめたくて続々とお城にやってくる国民に、王は覚悟をして自分から帽子を脱ぎ、あえてロバの耳を見せました。そしてこう言ったのです。

「たしかに、私の耳は他の人とはちがう。だから恥ずかしくて秘密にしていたのだ。隠し事をしてすまなかった。よく考えれば、耳が大きいことから、国民の声が他の国の王様よりもよく聞こえるのだ。だから、諸君の声によく耳を傾け、よりよい国づくりをしていきたい。」と城に集まってきた国民に演説をしたのです。

心配してお城に入ってきた国民はそれを聞いてみな安心しました。そして、ミダス王の勇気と広い心を知り、幸せな気持ちになって家に戻って仕事に励んだのです。歩み入る者にやすらぎを去りゆく人にしあわせをの草津町民憲章と同じですね。ミダス王は見事にピンチをチャンスに変えてしまいました。

これから始まる新しい学年での生活、楽しいことはたくさんあることと思いますが、悲しいことや悔しいことも同じくらいあるかもしれません。もしかしたら、自分史上最大のピンチがやってくるかもしれません。みなさんの令和3年度がどうなるかは誰にもわかりません。しかし、確実に言えるのは、ピンチは自分の覚悟が試される時であり、自分が成長できる絶好のチャンスであるということです。

みなさんが、ミダス王だったらどうしましたか？

逃げることばかりを考えていると気持ちの余裕はなくなりますが、問題発生の原因を探ろうとすれば解決のヒントは見えてきます。そして、気持ちにゆとりもでてくることでしょう。そうしている間に、自分の考えをまとめることができ、よいアイデアが浮かぶかもしれません。まずは、問題としっかりと向き合うことが、解決に向けた最初の一歩となることでしょう。

いよいよ新しい年度の始まりです。一年間よろしくお祈りします。

